



日本看護系学会協議会

ニュースレター

第 21 号

2014年4月19日 発行

編集発行

日本看護系学会協議会

(事務局)〒781-8515

高知県高知市池2751-1

高知県立大学 看護学部内

日本看護系学会協議会 事務局

E-mail: jana-jim@ccu-kochi.ac.jp

FAX: 088-847-8750

日本学術会議看護学分科会の活動



日本学術会議との相互協力担当、日本学術会議会員

太田 喜久子

日本学術会議22期は、2011年10からはじまり2014年9月末までの期間である。今期の健康・生活科学委員会看護学分科会の活動は、日本学術会議の財政難の影響を多大に受け、会議開催がままならず、諸課題を十分検討してその成果を出していくことが難しかった。しかし、実施してきた内容をいくつかあげて報告する。

前期から取り組んできた高度実践看護師のあり方については、日本看護系学会協議会との共同主催、日本看護系大学協議会とも連携して3回(2012年12月、2013年3月、2013年12月)のシンポジウム・意見交換会を開催することができた。高度な看護実践とは何か、キュアとケアを融合する看護の教育はどうあるべきかを検討し、わが国における高度実践看護師制度のグランドデザインを明確にする努力を重ねてきた。この成果は、今秋の「学術の動向」特集“実践を変革する高度実践看護師の発展をめざして”と題して掲載されることが決まったところである。

また看護学分科会は、看護系の連携会員16名を含め22名であるが、次の2つの課題を検討してきた。1つは、看護の対象への働きかけ論の本質、構造を明確にしていくことであり、これがケアサ

イエンスの探究へとつながっていった。もう1つは、看護の学術発展のため、研究者育成とくに若手看護学研究者の育成、研究環境のありかたの検討を行ってきた。これらの検討を踏まえ、2014年3月「ケアサイエンスの必要性と看護学の役割」というシンポジウムを日本看護系学会協議会との共同で開催し、これからの時代に求められるケアサイエンス探究の必要性と看護学への期待について他学問分野の研究者と共に学際的な意見交換を行うことができた。同時に、「ケアの時代を先導する若手看護学研究者育成」と題して、戦略的にケア開発を推進できる若手看護学研究者に必要な環境、体制の整備についてまとめ、公表できる手続きを踏んでいるところである。

さらに、大学教育の分野別質保証に資するために、看護学分野における教育課程編成上の参照基準について、これまで看護界で蓄積されてきた成果を活かしてさらに検討し、参照基準作成をめざした活動を行う予定である。

これからも、日本看護系学会協議会との連携の中で、皆様のご協力のもと、変動する社会における看護学、看護実践、看護専門家のあり方を広く、深く検討し、その成果を発信していく所存である。

シンポジウム「わが国における高度実践看護師の グランドデザインⅡ」を通して

日本看護系学会協議会

会長 野 嶋 佐由美

平成25年12月7日に日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会との共催で、日本看護科学学会第33回学術集会のご後援を頂き、昨年に引き続き「わが国における高度実践看護師のグランドデザインⅡ」のシンポジウムを開催しました。

米国コロラド大学名誉教授のMagilvy先生からは、豊富な教育者としての経験に基づいて、1) 米国の高度実践看護にかかわる現状の紹介、2) 米国のナースプラクティショナーとクリニカルスペシャリストの役割と実践の紹介、3) 高度実践看護に関する将来の動向について、ご講演していただきました。高度実践看護師の基盤となる考え方、前提について、さらに最近の動向としてコンセンサスマデルやDNP制度についてご紹介いただきました。これらの内容は、われわれがグローバルスタンダードに基づいた高度実践看護師制度を推進し、NPを育成し普及させていくに当たって、重要な方向性と示唆していただきました。

内布敦子先生は日本看護系学会協議会高度実践看護師のあり方検討会と学術会議看護学分科会の検討内容を紹介してくださるとともに、今後われわれが取り組むべき課題を明確化されました。そのひとつとして、高度実践看護師制度を推進していく上で看護界としてのコンセンサス、専門職間でのコンセンサス、患者・社会・国民とのコンセンサスが必要であり、コンセンサス形成に向けて取り組んでいくことが重要であると指摘されています。そのなかでも、高度実践看護師が実践する高度な看護実践を開拓し、専門的なエビデンスを提供する学会の役割こそエッセンシャルであると強調されました。そのうえで、日本版高度実践看護師教育認定における各学会の役割として9つをあげています。

田中美恵子先生は、日本看護系大学協議会高度実践看護師制度推進委員会、ナースプラクティショナー教育モデル

作成ワーキング委員会の検討内容を踏まえてお話をしました。高度実践看護師の定義「看護系大学院の教育を受け、個人、家族および集団に対して、ケアとキュアの融合による高度な看護学の知識と技術を駆使して、疾病の予防および治療・療養過程の全般を管理実践できる者」（日本看護系大学協議会）を説明し、わが国の高度実践看護師は、クリニカルナーススペシャリストとナースプラクティショナーが存在するように制度設計することを提案している。緊急課題であるナースプラクティショナーの育成と普及について重要な提案がなされた。その方策のひとつとして、プライマリケア領域のナースプラクティショナーの定義、機能、役割、コンピテンシーの考え方が紹介され、教育のあり方についても言及された。以上3人のシンポジストから貴重なご意見や提案をいただきました。

この「わが国における高度実践看護師」をテーマとするシンポジウムには会場あふれるばかりの参加者で、多方面から、活発な意見交換がなされてきました。本協議会といたしましても、これまでに会員学会の皆様方に協力を願ひ、調査、意見交換会、緊急会議等々を重ねながら、高度実践看護師のあり方、そして特定行為にかかわる看護師の裁量権の課題について検討を重ねてきました。全学会が患者のケアの質向上と看護師の裁量権拡大に向けての、それぞれの専門性を基盤として意見交換をしてきました。特定行為については一定の結論は出されていますが、高度実践看護師制度、ナースプラクティショナーの教育・育成は、グランドデザインを描き本格的に取り組んでいくべき時期が到来したともいえます。このシンポジウムの座長として、日本看護系学会協議会会長として、各学会のご協力に感謝するとともに、更なる発展に向けてご支援いただけますようお願い申し上げます。

会員学会紹介

日本運動器看護学会

理事長 泉 キヨ子
(帝京科学大学医療科学部看護学科)

日本運動器看護学会は、日本整形外科看護研究会の第11回学術集会終了(2011年)から発足致しました。

学会の目的は「運動器看護学の学術的発展を図るとともに、看護実践の質的向上に寄与すること」です。運動機能は人が座る、立つ、歩く、手を使うなどの簡単な日常の動作に不可欠です。超高齢社会が進むなかで、高齢者の骨粗鬆症や関節疾患、骨折などで運動器(運動機能)に障害を持つ方が増えています。介護が必要となる原因としても関節疾患や転倒・骨折が大きく関与しています。したがって、運動器看護学会という名称を用いることで、急性期の整形外科看護としての骨・関節・筋肉疾患ばかりでなく、

慢性期や在宅などさまざまな状況にある運動機能に障害のある人や家族の看護として広範囲に捉えることができます。会員数は約650名です。学会認定の運動器看護師(正式名称は日本運動器看護学会認定運動器看護師)の育成をスタートし、昨年1期生を輩出しました。また地区研修会は、北海道、九州、中国、四国、近畿などで開催し、好評を得ています。

本会はこの分野の学術活動、実践の向上および運動器看護師の質的向上について、さらに発展させたいと考えています。

日本公衆衛生看護学会

(Japan Academy of Public Health Nursing)

理事長 佐伯和子

わが国の地域保健対策では、科学的根拠に基づいた地域保健の推進、ソーシャルキャピタルを活用した自助及び共助の支援体制の推進、地域における危機管理、学校保健・産業保健との連携強化に重点がおかれ、さらには震災復興での生活支援と地域の再生において公衆衛生看護への期待が高まっています。

本学会は、公衆衛生看護の学術的発展と、研究・教育及び実践の向上と推進をめざし、活動を通じて国民の健康増進と社会の安寧に寄与することを目的に、平成24年7月に設立されました。設立2年目を迎え、学術集会の開催、学会誌等の発行、公衆衛生看護学の研究、公衆衛生看護活動

及び保健師活動の推進を柱に、創成期から成長期への発展を図ってまいります。

本学会の特長として、学術集会のテーマを紹介します。第1回(平成25年)「新たな公衆衛生看護の創造—すべての人々の健康と生活を支える保健師活動を語り合おう」、第2回(平成26年)「公衆衛生看護の社会的使命とソーシャルキャピタル」、第3回(平成27年予定)「実践・研究・教育の協働で創り出す公衆衛生看護の知」と続きます。実践と科学を結びつけ、学術団体として今日的課題を社会に発信してまいります。

日本放射線看護学会

理事長 小西恵美子

放射線看護が主に病院で発展してきた途上で、大震災に原発事故が重なった。放射線看護に地域・公衆衛生看護の視点が不可欠だ、放射線の知識はどの看護職にも必要だと強く認識し、2012年に本学会が発足した。設立趣旨は、臨床、地域、産業等、看護活動の場を横断して、平常時はもとより、事故・異常・緊急時の放射線・被ばくに関わる看護実践と知の集積を目指すことを述べている。

原発事故の影響は長く続く。安倍首相は、大災害3周年

の記者会見で「保健師」に3度言及した。政府は、放射線による健康不安対策の柱に相談支援制度を据え、その要を保健師とした。社会は看護に期待している。看護は、これにこたえ、国の苦難に力を尽くす責務がある。放射線看護の大学院コース修了者は、社会の期待に応じて活躍している。このパイオニア達が一日も早く放射線の専門看護師資格を持てること、また、放射線教育が看護教育に定着することを、学会は切に望んでいる。

【平成26年度 日本看護系学会協議会総会のご案内】

日 時：平成26年6月30日（月）13時～
 場 所：日本赤十字看護大学広尾キャンパス（東京都渋谷区広尾4-1-3）
 アクセス：JR渋谷駅より都バス（学03）日本赤十字医療センター行 終点下車
 JR恵比寿駅より都バス（学06）日本赤十字医療センター行 終点下車
 東京メトロ日比谷線広尾駅 六本木寄り口下車徒歩15分
 会員学会のご参加よろしくお願いたします。

ナーシングサイエンスカフェ Nursing Science Café 事業について

- ◆日本看護系学会協議会では市民との対話や、次世代を担う人が看護学について情報を得る機会を提供することを目的として、Nursing Science Caféの支援を行っております。Nursing Science Café事業を通して、看護の取り組みが一般市民に可視化され、次世代の育成に貢献していくことが期待されます。
- ◆日本看護系学会協議会事務局では、Nursing Science Caféにご来場いただいた方に差し上げる記念グッズ（注射器型蛍光マーカー イエローとピンク）を準備しております。中学生・高校生の皆様と看護の専門家が集まって、語り合える場としてNursing Science Caféをぜひ開設していただければと存じます。
- ◆グッズをご希望の場合は、①学術集会名・期間、②カフェ募集人数、③グッズの送付先、④グッズの送付希望日、⑤メール等の連絡先を日本看護系学会協議会事務局 jana-jim@cc.u-kochi.ac.jp までお知らせください。なお、グッズの提供を受けた学会は、終了後に参加人数を事務局まで報告していただきますようお願いいたします。また、送付したグッズが10個以上残った場合は、事務局までグッズを返却くださいますようお願いいたします。



平成24～26年度 日本看護系学会協議会 会員学会名簿

日本看護系学会協議会会員学会（平成26年3月7日現在）

会 員 名	会 員 名
・ 高知女子大学看護学会	・ 一般社団法人日本助産学会
・ 聖路加看護学会	・ 日本新生児看護学会
・ 千葉看護学会	・ 日本腎不全看護学会
・ 日本家族看護学会	・ 日本生殖看護学会
・ 公益社団法人日本看護科学学会	・ 日本精神保健看護学会
・ 日本看護学教育学会	・ 日本赤十字看護学会
・ 日本看護管理学会	・ 日本地域看護学会
・ 日本看護技術学会	・ 一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
・ 日本看護教育学会	・ 日本難病看護学会
・ 日本看護研究学会	・ 一般社団法人日本母性看護学会
・ 日本看護診断学会	・ 日本慢性看護学会
・ 日本看護福祉学会	・ 日本ルーラルナーシング学会
・ 日本看護歴史学会	・ 日本老年看護学会
・ 一般社団法人日本がん看護学会	・ 日本看護医療学会
・ 一般社団法人日本救急看護学会	・ 日本看護倫理学会
・ 一般社団法人	・ 日本創傷・オストミー・失禁管理学会
・ 日本クリティカルケア看護学会	・ 日本アデクション看護学会
・ 日本災害看護学会	・ 日本母子看護学会
・ 日本在宅ケア学会	・ 日本運動器看護学会
・ 日本手術看護学会	・ 日本公衆衛生看護学会
・ 日本循環器看護学会	・ 日本放射線看護学会
・ 一般社団法人日本小児看護学会	

【役 員】

会 長

野 嶋 佐由美

副会長

高 田 早 苗

(兼庶務・役員選出に関する検討プロジェクト・ガイドライン開発推進プロジェクト)

田 中 美恵子

(兼広報ホームページ・東日本大震災支援事業・日本看護系学会協議会のあり方検討委員会)

理 事

太 田 喜久子

(日本学術会議・高度実践看護師制度あり方検討会・ガイドライン開発推進プロジェクト)

菱 沼 典 子

(日本医療安全調査機構 診療行為に関連した死亡の調査分析事業・役員選出に関する検討プロジェクト)

内 布 敦 子

(高度実践看護師制度あり方検討会・ガイドライン開発推進プロジェクト)

片 田 範 子 (高度実践看護師制度あり方検討会)

麻 原 きよみ (シンボ企画・東日本大震災支援事業)

黒 田 裕 子 (会計・シンボ企画・日本看護系学会協議会のあり方検討委員会)

高見沢 恵美子 (会計・日本学術振興会)

西 沢 義 子 (日本学術振興会)

村 嶋 幸 代 (広報ニュースレター)

田 井 雅 子 (庶務・ナーシングサイエンスカフェ・役員選出に関する検討プロジェクト)

監 事

南 裕 子 (兼東日本大震災支援事業)

数 間 恵 子

—編集後記—

本号では、日本学術会議看護学分科会の新しい報告書の紹介と、昨年12月のシンポジウム「高度実践看護師のグランドデザインⅡ」を掲載しました。後者に関しては、目下、看護師が特定行為をできるための研修制度の創設という形で、法案が国会上程されています。紆余曲折を経てやっと辿りついたこの法案が、看護師の役割拡大の契機となり、看護学が豊かに育つ一助になることを期待し、尽力してきた方々の努力に深謝します。本号では久しぶりに学会紹介を掲載しました。今回は、新入会の学会です。順次、紹介したいと思います。(村嶋幸代)

日本看護系学会協議会会員学会

2014年4月7日現在

学 会 名	理事長	学 会 連 絡 先						ホームページアドレス
		郵便番号	学会連絡先住所	学会 TEL	学会 FAX	学会 E-mail	宛先(担当者)	
1 高知女子大学看護学会	野嶋 佑由美	781-8515	高知県高知市池2751-1 高知県立大学看護学部内	(088)847-5524	(088)847-5524	kawakami@cc.u-kochi.ac.jp	川上 理子	http://www.kochi-wu.ac.jp/~nsgakkai/index.html
2 聖路加看護学会	山田 雅子	104-0044	東京都中央区明石町10-1	(03)3543-6391	(03)5565-1626	slnr@slcn.ac.jp	山田 雅子	http://sinr.umin.jp/
3 千葉看護学会	酒井 郁子	260-8672	千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学看護学部内	(043)226-2421	(043)226-2421	cans-adm@umin.ac.jp	谷本真理子	http://cans.umin.jp/
4 日本家族看護学会	石垣 和子	929-1210	石川県かほく市学園台1-1 石川県立看護大学内	(076)281-8374	(076)281-8374	family_chiba_u_2007@yahoo.co.jp	石垣 和子	http://square.umin.ac.jp/jarfn/
5 公益社団法人 日本看護科学学会	小松 浩子	113-0033	東京都文京区本郷3-37-3 富士見ビル201	(03)5805-1280	(03)5805-1281	jans-office@umin.net	小松 浩子	http://jans.umin.ac.jp/
6 日本看護学教育学会	小山真理子	105-0012	東京都港区芝大門2-12-6 芝ハタビル402	(03)5472-7455	(03)5472-7465	jimukyoku@jane-ns.org	小山真理子	http://www.jane-ns.org
7 一般社団法人 日本看護管理学会	鶴田 恵子	150-0013	東京都渋谷区恵比寿3-29-17 サンシティービル201号室 一般社団法人日本看護管理学会 管理 事務所	(03)6721-6803	(03)6721-6823	kaikei@janap.jp	鶴田 恵子	http://janap.umin.ac.jp
8 日本看護技術学会	菱沼 典子	104-0044	東京都中央区明石町10-1 聖路加国際大学大久保研究室気付 日本看護技術学会事務局	(03)5550-2253	(03)5550-2253	jsnas@slcn.ac.jp	菱沼 典子	http://www.jsnas.jp/
9 日本看護教育学会	永野 光子	260-8672	千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学大学院看護学研究科 看護教育学教育研究分野気付	(043)226-2397	(043)226-2397	jasne-office@umin.ac.jp	中山登志子	http://jasne.umin.jp
10 日本看護研究学会	黒田 裕子	260-0015	千葉県千葉市中央区富士見2丁目22番6号 富士ビル6階	(043)221-2331	(043)221-2332	jsnr@bridge.ocn.ne.jp	黒田 裕子	http://www.jsnr.jp
11 日本看護診断学会	小田 正枝	160-0022	東京都新宿区新宿1-15-11 イマキイレビル (株)グローバルエクス プレス・国際会議センター内	(03)3352-6223	(03)3352-5421	jsnd@convention-access.com	任 和子	http://jsnd.umin.jp/
12 日本看護福祉学会	岡崎美智子	814-0001	福岡県福岡市早良区百道浜1-7-4 国際医療福祉大学 福岡看護学部天神 キャンパス内	(092)407-0805 (代表)		okazaki-m@iuhw.ac.jp	岡崎美智子	http://kangofukushi.sakura.ne.jp/
13 日本看護歴史学会	川嶋みどり	150-0012	東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内	(03)3409-0613	(03)3409-0589	yamazaki@redcross.ac.jp	山崎 裕二	http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/
14 一般社団法人 日本がん看護学会	小松 浩子	550-0001	大阪府大阪市西区土佐堀1丁目1番23号 コウタイ肥後橋ビル3階D号室 日本がん看護学会事務局		(06)6447-2877	info@jscn.or.jp	秋元 典子	http://jscn.or.jp/
15 一般社団法人 日本救急看護学会	中村 恵子	164-0001	東京都中野区中野2-2-3 榎へるす出版事業部内	(03)3384-8030	(03)3380-8627	jaen@herusu-shuppan.co.jp;jaen-adm@umin.ac.jp	中村 恵子	http://jaen.umin.jp
16 一般社団法人 日本クリティカルケア看護学会	黒田 裕子	160-0022	新宿区新宿1-15-11 イマキイレビル1F 一般社団法人日 本クリティカルケア看護学会 事務局	(03)5312-7433	(03)5312-7434	jaccn-admin@umin.ac.jp	安 田	http://jaccn.umin.jp/
17 日本災害看護学会	南 裕子	781-8515	高知市池2751-1 高知県立大学看護学部内	(088)847-8705	(088)847-8705	jsdn@univcoop.or.jp	森下 安子	http://www.jsdn.gr.jp/
18 日本在宅ケア学会	亀井 智子	162-0825	東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワ ビル2F (株)ワールドプランニング内 日本在宅ケア学会事務センター	(03)5206-7431	(03)5206-7757	jahc@zfhv.ftbb.net	亀井 智子	http://www.jahc.com/
19 日本手術看護学会	菊地 京子	113-0033	東京都文京区本郷3-19-7 本郷三宝ビル4F	(03)3813-0485	(03)3813-0539	jona@yacht.ocn.ne.jp	星 正行	http://www.jona.gr.jp/index.shtml
20 日本循環器看護学会	宮脇 郁子	654-0142	兵庫県神戸市須磨区友が丘7-10-2 神戸大学大学院保健学研究科 看護学領域 宮脇研究室内 事務局	(078)796-4693	(078)796-4693	jacn@people.kobe-u.ac.jp	林 まり	http://www.jacn.jp/
21 一般社団法人 日本小児看護学会	及川 郁子	166-8532	東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内 日本小児看護学会事務局	(03)5307-1175	(03)5307-1196	jschn@univcoop.or.jp	及川 郁子	http://jschn.umin.ac.jp/
22 一般社団法人 日本助産学会	高田 昌代	170-0004	東京都豊島区北大塚3-21-10 アーバン 大塚3階 (株)ガリレオ学会業務情報化センター内 一般社団法人日本助産学会事務局	(03)5974-5310	(03)5907-6364	g019jam-mng@ml.gakkai.ne.jp	福井トシ子	http://square.umin.ac.jp/jam/
23 日本新生児看護学会	宇藤 裕子	594-1101	大阪府和泉市室堂町840 大阪府立母子保健総合医療センター看護 部内 日本新生児看護学会 事務局	(0725)56-3750	(0725)56-3750	neonatal@mch.pref.osaka.jp	宇藤 裕子	http://square.umin.ac.jp/~shinseij/
24 日本腎不全看護学会	水附 裕子	231-0005	神奈川県横浜市中区本町6-52 横浜エクセレントⅧ305 日本腎不全看護学会 事務局	(045)226-3091	(045)226-3092	a-uchida@sis.seirei.or.jp	内田 明子	http://ja-nn.jp/
25 日本生殖看護学会	野澤美江子	104-0044	東京都中央区明石町10-1 聖路加国際大学内 日本生殖看護学会事務局	(03)5550-2293	(03)5550-2293	jsin@slcn.ac.jp	三 上	http://jsin.umin.jp
26 日本精神保健看護学会	野末 聖香	162-0801	東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター	(03)5389-6254	(03)3368-2822	japmhn-post@bunken.co.jp	木 崎	http://www.japmhn.jp/
27 日本赤十字看護学会	守田美奈子	150-0012	東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内	(03)5485-5777	(03)5485-5777	jrcsns@redcross.ac.jp	川嶋みどり	http://jrcsns.umin.ne.jp/
28 日本地域看護学会	村嶋 幸代	162-0825	東京都新宿区神楽坂4-1-1 (株)ワールドプランニング内 日本地域看護学会事務局	(03)5206-7431	(03)5206-7757	ckango@zfhv.ftbb.net	村嶋 幸代	http://jachn.umin.jp/
29 一般社団法人 日本糖尿病教育・看護学会	数間 恵子	170-0004	東京都豊島区北大塚3-21-10アーバン 大塚3F (株)ガリレオ学会業務情報化 センター内 一般社団法人 日本糖尿 病教育・看護学会事務局	(03)5907-3750	(03)5907-6364	g015jaden-mng@ml.gakkai.ne.jp	数間 恵子	http://jaden1996.com/
30 日本難病看護学会	牛込三和子	156-8506	東京都世田谷区上北沢2-1-6 東京都医学総合研究所 難病ケア看護研究室	(03)6834-2290	(03)6834-2290	ns-nanbyo-ken07@igakuken.or.jp	牛込三和子	http://square.umin.ac.jp/intrac/

日本看護系学会協議会会員学会

2014年4月7日現在

学 会 名	理事長	学 会 連 絡 先						ホームページアドレス
		郵便番号	学会連絡先住所	学会 TEL	学会 FAX	学会 E-mail	宛先(担当者)	
31 一般社団法人 日本母性看護学会	森 恵美	260-8672	千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学大学院看護学研究科 母性看護学教育研究分野内	(043)226-2412	(043)226-2414	jsmn.office@gmail.com	坂上 明子 小澤 治美	http://bosei.org/
32 日本慢性看護学会	河口てる子	150-0012	東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内 日本慢性看護 学会 事務局	(03)3409-0589	(03)3409-0589	jscicn-office@umin.ac.jp	本庄 恵子	http://jscicn.com/
33 日本ルーラルナース ング学会	成田 伸	329-0498	栃木県下野市薬師寺3311-159 自治医科大学看護学部内	(0285)58-7504	(0285)44-7257	support@jasrun.org	中村 美鈴	http://www.jasrun.org/
34 日本老年看護学会	堀内 ふき	162-0825	東京都新宿区神楽坂4-1-1 株式会社ワールドプランニング内 日本老年看護学会事務局	(03)5206-7431	(03)5206-7757	rounenkango@nqfm. ftbb.net	吉田 妙	http://www.rounenkango.com/
35 日本看護医療学会	渡邊 順子	433-8558	静岡県浜松市北区三方原町3453 聖隷クリストファー大学看護学部内 日本看護医療学会事務局	(053)439-1400	(053)439-1406	jsnhc-jimu@seirei.ac.jp	炭谷正太郎	http://www.jsnhc.org/ leftpages/ask/ask.html
36 日本看護倫理学会	高田 早苗	150-0012	東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護学会内	(03)3409-0864	(03)3409-0589	jnea-office@umin.net	前田 樹海 谷口 千絵	http://jne.umin.jp/
37 日本創傷・オスト ミー・失禁管理学会	真田 弘美	169-0072	東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル ㈱春恒社 学 会事業部内 日本創傷・オストミー・ 失禁管理学会事務局	(03)5291-6231	(03)5291-2176	etwoc@shunkosha.com	真田 弘美	http://www.etwoc.org/
38 日本アクション 看護学会	松下 年子	350-1241	埼玉県日高市山根1397-1 埼玉医科大学 保健医療学部 看護学科 辻脇邦彦研究室内 日本アクション看護学会事務局	(042)984-4925	(042)984-4925	kusaka@dokyomed. ac.jp	日下 修一	http://plaza.umin.ac. jp/~jaddictn/
39 日本母子看護学会	齋藤 益子	143-0015	東京都大田区大森西4-16-20	(03)3762-9881	(03)3766-3914	jmica2@gmail.com	山崎 圭子	http://jmica.kenkyukai.jp/ about/
40 日本運動器看護学会	泉 キヨ子	113-0033	東京都文京区本郷3-3-11 NCKビル 編集室なるにあ内	(03)3818-6450	(03)3818-0554	jaon@narunia.co.jp		http://jaon.umin.jp/
41 日本公衆衛生看護学会	佐伯 和子	602-8048	京都市上京区下立売通小川東入る西大 路町146番地 中西印刷㈱内	(075)415-3661	(075)415-3662	japhn@nacos.com		http://plaza.umin.ac.jp/~ JAPHN/
42 日本放射線看護学会	小西恵美子	890-8544	鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8-35-1 鹿児島大学医学部保健学科内 日本放射線看護学会事務局	(099)275-6754	(099)275-6754	matsuy@health.nop. kagoshima-u.ac.jp	成松	http://www.rnsj.jp/web/ index.php